

4. 「学生による授業評価アンケート」全学的観点から見た現状と今後の課題

全学のアンケート結果の「授業の状況」では、(1)「授業はシラバス（目標・内容・方法など）に沿った内容であった」、(2)「授業中に使う教材（テキスト・配布資料など）は適切であった」等をはじめとして、全て平均が4点以上あり、比較的高い数値を示している。「学習の状況」では、(9)「やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった」では、「5：そう思う」が60%を示し、また(8)「授業の内容は理解できた」も「5：そう思う」が40%以上を示している。学習に真面目に取り組んでいる様子が理解できる反面、(10)「この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか」では、29.1%が「1：0時間」と回答するなどかなり低い数値を示している。

開講所属別では、「英語英文学科専門教育科目」の、「授業の状況」では、どの項目も全体平均との大差はない。そして「学習の状況」の(9)「やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった」は、高い数値を示している。(10)「この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか」は、低くなっているが、全体平均より少し高い数値となっている。また「学習成果（社会人基礎力）」では、全ての質問に対しては、全体平均を全て上回っている。

「人間文化学科専門教育科目」の、「授業の状況」では、全てが全体平均を上回っている。そして「学習成果（社会人基礎力）」のどの項目も全体平均を上回り、特に(15)「この授業で、『思考・解決する力』が向上した」の項目が高い数値を示している。しかし(10)「この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか」に関しては、低い数値を示している。

次に「心理学部専門教育科目」の、「授業の状況」では、全体平均とほぼ同じ数値を示している。「学習の状況」では、(9)「やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった」という質問では高い数値を示しているが、(10)「この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか」は、他学科と同じような低い数値である。「学習成果（社会人基礎力）」では、全体平均とほぼ同じ数値を示しているが、(12)「この授業で、『共生・協働する力』が向上した」、(13)「この授業で、『コミュニケーションする力』が向上した」が全体平均より僅かに低い数値である。

「生活福祉文化学部専門教育」の「授業の状況」では、どの項目も全体平均とほぼ同じ数値を示している。「学習の状況」では、(9)「やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった」の数値は高いが、(10)「この科目について授業以外1週間あたり、どのくらい学習しましたか」は、低い数値になっている。そして「学習成果（社会人基礎力）」を見ると、どの項目も、全体平均と同じか、少し高い数値となっている。

「人間文化学部共通科目」の「授業の状況」では、(2)「授業中に使う教材（テキスト・配布資料など）は適切であった」の数値が高く、それ以外の項目も全体平均と同じかそれ以上の数値となっている。そして「学習の状況」の項目でも、平均を上回っている。「学習成果（社会人基礎力）」でも、全体平均と同じくらいか、高くなっているが、(14)「この授

業で、『創造・発信する力』が向上した」、(16)「この授業で、「主体的に行動する力」が向上した」では、全体平均を少し下回っている。

「共通教育科目」の「授業の状況」では、(7)「授業の教室の広さや設備などは適切であった」は、高い数値を示していた。「学習の状況」では、(8)「授業の内容は理解できた」が、高い数値を示している。「学習成果（社会人基礎力）」では、すべての質問において、全体平均より数値が低く、特に(13)「この授業で、『コミュニケーションする力』が向上した」の数値が低くなっている。

授業形態別では、「講義」の「授業の状況」は、全てが高い数値を示しているものの、「学習の状況」では、(10)「この科目について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学習しましたか」では、低い数値がみられる。また「学習成果（社会人基礎力）」では全ての項目で全体の平均値を下回っている。特に(13)「この授業で、『コミュニケーションする力』が向上した」の数値が低い。

「演習」の、「授業の状況」は、ほぼ全体平均以上の数値を示しているが、「学習の状況」の(10)「この科目について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学習しましたか」は、低い数値である。また「学習成果（社会人基礎力）」では、(13)「この授業で、『コミュニケーションする力』が向上した」は、全体平均をかなり上回っていて、他の項目も、全体平均より高い数値を示している。

「実習」の「授業の状況」は全体平均を上回っている。「学習の状況」も、実習では(10)「この科目について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学習しましたか」は高い数値を示し、全体平均より高い数値を示している。そして「学習成果（社会人基礎力）」においても、それぞれの項目が、全体平均より高い数値を示している。

最後に「卒業研究」の、「授業の状況」および「学習の状況」の、(1)～(9)で全体平均を下回っているが、「学習の状況」の(10)「この科目について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学習しましたか」という項目だけは、卒業研究と言うだけあって、唯一高い数値を示している。しかし「学習成果（社会人基礎学力）」は、全体平均とあまり変わらず、(15)「この授業で、『思考・解決する力』が向上した」では全体平均を下回っている。

文責：吉野 啓子（人間文化学部 英語英文学科 FD 委員）